

# 小海中だより

2023. 11. 13  
NO. 9

小海中学校ホームページ<<http://www.koumi-jhs.ed.jp/>>からもご覧いただけます。



## 音楽鑑賞会がありました

10月10日(火)今年度は「Joy Swing Company」というジャズのグループが小海中にやってきました。「A列車でいこう」というジャズの有名な曲から始まり、途中、「ディズニーメドレー」などをはさみながら演奏が続きました。生徒が演奏に参加する場面もあり、とても盛り上がりました。アンコールも合わせると全10曲の演奏会になりました。とても素敵な時間を過ごすことができました。



Joy Swing Company の皆さん  
生徒の感想



生徒も一緒に演奏

- ・プロはレベルが違うなと思いました。
- ・とても、迫力があってすごかった。
- ・精鋭ぞろいの演奏で、盛り上げ方もうまく、聞いていて飽きることが全くなかった。
- ・皆さんが楽しそうに演奏していて、見てて聞いててとても楽しかったです。トランペットの人とトロンボーンの人面白すぎました!ドラムカッコよかったです
- ・はじめてジャズというものを聞いて、意外と自分の知っている曲もあって他にも知らない曲とかもリズムカルなものから静かな感じの曲まであって面白かったです。

## 後期人権旬間がスタートしました

10月11日(水)の1時間目、学校長の講話があり後期人権旬間がスタートしました。「1代前は両親で2代前はそのまま両親で…と考えると27代前は1億3000万が親戚になる計算になる。今、皆さんの周りにも意外と近い親戚かもしれません。『共生』。お互いを尊重しながら生きていこう。友人とトラブルもあるかもしれませんが、対話で解決を目指していこう。」という内容でした。生徒は『共生』をキーワードにしながら、後期人権旬間で学びを深めていきます。



- ・家系図を見てほとんどの人と遠い親戚なんだなと思いました。「共生」互いに認め合ったり助け合ったりすることを大切に生活していきたい。
- ・「共生」という言葉を聞いて、たしかに共生ができるようになっていけばいいなと思いました。
- ・相手の足りないところを補いながら生活していく事が大事なんだと思った。これからの後期人権教育でしっかり考えていきたい。
- ・共生について、お互いの考えを尊重するということがあったが、これからも人の考えを否定することなく生活できたらなと感じた。
- ・共生を大切にするには、いじめを無くすことが大切だと思うが、自分だけでなく、他の人も意識していかないと無くならないのだと感じた。全員で協力して生きていきたい。

## 3年生は小海保育所を訪問しました



10月16日(月)家庭科の授業で、3年生全員が小海保育所を訪問しました。前回7月の保育所実習では交流が主な目的でしたが、今回の訪問は全員で訪問して、一緒にさつま芋掘りを行いました。大きなさつま芋をたくさん収穫することができました。園児に寄り添いながら芋を掘る姿や、大きなさつま芋が取れたときに一緒に喜ぶ姿など、3年生達の成長を随所に見ることができました。作業が終わり、お別れの時には、涙を流して別れを惜しむ園児の姿も見られるなど、とても良い訪問になりました。

- 保育所に久しぶりに行ったけど、前回の反省とかふまえて、いい実習になってよかった。
- ちっちゃい子達と協力して、さつま芋を掘って最後遊んでいたらあっという間に時間が過ぎてもう少しいたいと思いました。
- 前回よりもたくさん話しができてよかったです。一緒に遊ぶことはできなかったけれど、一緒に楽しく過ごせてよかったです。また保育実習に行きたいです。
- 保育園児とのふれあいを通して、小さい子どもとの関わり方や、注意することなど学ぶ事ができてよかったです。
- バツが逃げて泣いているところからはじまり、最後まで大変だったけど、帰るときに寄ってきてハイタッチしてくれたのはとてもうれしかった。
- 保育園児と目線を合わせて話すことができた。話しかけに行ったら楽しく話すことができた。
- 前回よりも時間があったから、なじむことがよりできてよかった。「子どもを育てるということはこんな感じか」と感じる事もできた。

## ある日の一コマ

学校だよりには学校行事を掲載することが多くなります。しかし、学校の基本は日常の授業です。10月18日(水)は教員の研修のため佐久地区の中学校は休みになりましたが、教員は毎日どうすれば生徒達に力をつけることができるだろうと、研修を行いました。右の写真はある日の一コマです。ICTを使いながら、「こうしてみたけど良かったんだろうか」「こうやってみればどうだったかな」と教員同士で相談している様子です。「学ぶ事をやめたら教える事をやめなければならない」。教員も学び合いながら日々研鑽を積み重ねています。





## 2 学年は職業体験学習を行いました

10月26日(木)27日(金)の二日間、2学年の生徒は地域の事業所などに出かけ職業体験学習を行いました。地域の事業所の方々にはお忙しい中、ご理解とご協力をいただき、貴重な体験をさせていただくことができました。すべての職業体験の様子の写真を載せることはできませんが、いくつか体験の様子を載せておきます。



## 新人戦の結果

新人戦が始まりました。まだ続いている部がありますが現段階での結果を掲載します。

**10月14日(土)**

- ◇サッカー部(本校・南牧中・佐久穂中・大日向中) 浅科中会場  
軽井沢中戦4対2で勝利 上田三中戦2対1で勝利 決勝トーナメントへ進出
- ◇卓球部(本校・川上中・南牧中) 佐久総合体育館会場  
白田中戦0対3で敗戦 望月中戦0対3で敗戦  
2次リーグ 立科中戦1対3で敗戦 御代田中戦0対3で敗戦

**10月15日(日)**

- ◇卓球個人戦 1・2回戦で敗戦

**10月21日(土)**

- ◇野球部(浅科中) 合同チーム 小諸市営球場会場  
1回戦 依田窪南部・三中合同チーム戦1対12で敗戦
- ◇女子バスケットボール部(本校・南牧中) 佐久総合体育館会場  
1回戦 小諸東中戦34対49で敗戦

**10月28日(土)**

- ◇サッカー部(本校・南牧中・佐久穂中・大日向中) 野沢中会場  
決勝トーナメント1回戦 上田三中戦0対1で敗戦

**11月4日(土)**

- ◇女子バレー部(本校・南牧中) 小諸東中会場  
予選リーグ 丸子北中戦2対0で勝利 真田中戦2対0で勝利 2次リーグへ進出(11月18日19日)





# 学校保健委員会を実施しました

1月7日（火）授業参観を行い、その後に学校保健委員会を実施しました。今年度は、「スマホやタブレットの使い方について」互いに話し合う形式で実施しました。計画では、体育館で生徒・保護者・教師が混在するグループを作り、対話活動形式で実施する予定でしたが、インフルエンザ流行の直後ということもあり、今回は、生徒・教師と保護者・教師が別々の会場に分かれて行いました。それぞれの会場から出た意見を一部掲載しておきます。

## 生徒・教師のグループから出た意見

- ・平日2時間、休日6～8時間 時間を決めて使っている。
- ・ゲームや動画、音楽を聴いたり、調べ学習で利用している。
- ・家のルールはあるけど、かかれて使ってしまうこともある。
- ・動画など、使いすぎていて自分を制御できなくて逆にストレスがたまるし、そんな自分が怖い。
- ・友達と話す内容がスマホのことだったり、ゲームのことだったりするので話題についていきたい。
- ・タブレットを使っていたら、ウイルスに感染した。親から怒られた。
- ・学習で分からない所が調べ放題。
- ・注意していることは画面との距離、食事中はいじらない、時間を決める、課金しないなど。
- ・学校以外の所でも話したいことがある。

## 保護者・教師のグループから出た意見

- ・ゲームばかりやっている。
- ・LINEは家族だけというルールにしている。
- ・課金は絶対にだめ。
- ・YouTubeをずっと見ている。
- ・部活に関する動画や、一緒に見て楽しめるものならいいと思う。
- ・信じてみようと思う。心配しすぎると、親も疲れてしまう。
- ・知識が子どもの方が豊富。インスタライブなどをやっているの、親としては心配。
- ・ある程度経験させて伝えるべきは伝える。日頃からコミュニケーションをとって困った時に相談できる家庭環境をつくっておくことが大切。
- ・持たせて後悔している。制限はかけていない。家族で集まる時間は減った。課金は絶対にしない。
- ・スマホに依存しすぎている。使用する時間が多すぎるので注意するが、すぐまた元に戻ってしまう。
- ・ほとんどがゲームをすることに時間が取られている。少しでも必要なことに時間を割いて欲しいというのが親としての願いです。
- ・とにかく心配しています。信用してはいるが、何かあったらと心配してしまう。お互いに思うところがあったら話し合いたいし、ルールや使い方を一緒に考えたい。

## 学校保健委員会を実施しての保護者の皆さんの感想

- ・他の御家庭の様子も聞けて良かった。今回は生徒と保護者が別室だったが、一緒だったらどんな話しができていたか興味がある。
- ・講演会のような形もいいが、今回のような形式もよいと感じた。
- ・いつも家庭で悩んでいるテーマなのでよかった。
- ・ずっと同じメンバーだったが、時間でメンバーをかえても良かったのではと思います。
- ・普段、誰にも話せないことや、話さないことをみんな対話すると、話せてスッキリする。
- ・つい嫌な言い方で注意をしてしまっていたが、他の保護者の方のご意見も参考に、子どもが聞いてもいいと思える言い方を考えたい。

